

毎日ムック 2016年9月30日発行 掲載

病院最前線シリーズ

# 病院最前線

高気圧酸素治療と  
局所持続洗浄療法

情熱医療  
プロフェッショナル  
ドクター PROFESSIONAL  
DOCTOR

川寫整形外科病院  
かわしまクリニック

2017

第2種高気圧酸素治療は8人が同時に治療できる。高気圧酸素療法で人間の治る力を促進し、自然治癒力を高める



専用装置を3台導入  
高気圧酸素治療のバイオニア

川島整形外科病院・かわしまクリニックは、整形外科に特化した病院だが、グループ施設として介護老人保健施設のみを併設し、急性期から慢性期、さらには在宅までを含めた地域に密着した医療・看護・介護をトータルに提供できる体制を確立している。

同院は、全国に先駆けて手がけた高気圧酸素治療(HBO)で実績を上げている病院でもある。「1971年、虎の門病院に勤務していたころ、大学時代のクラスメイトの眞野喜洋先生(日本高気圧・潜水医学会元理事長)が減圧症(潜水病)になったのが興味を持ったきっかけです。その後、天児民和九州大学名誉教授の指導のもと有明海大浦漁協における潜水士の骨壊死について研究し、減圧症の治療である高気圧酸素治療に本格的に取り組みました」と川島眞人理事長は減圧症と高気圧酸素

「水滴は岩をも穿つ」を理念に優秀な医師や職員が地道な努力を継続し  
全国的に名高い高気圧酸素治療と川島式持続洗浄療法で地域医療に貢献

川島 眞人 理事長

かわしま・まひと  
医学博士。東京医科歯科大学医学部卒業。日本整形外科学会認定整形外科専門医。日本高気圧環境医学・潜水医学会代表理事、国際潜水・高気圧環境医学会名誉会員、アジア・太平洋高気圧環境医学会副理事長、日本骨・関節感染症学会名誉会員、大分県病院協会会長、中国河南医科大学骨科研究所名譽所長・教授、大分大学医学部臨床教授ほか役職多数



社会医療法人 玄真堂 <http://kawashimahp.jp/>

川島整形外科病院

大分県中津市宮夫17 (TEL) 0979-24-0464  
(診察時間) 火・木・土 9:00~11:00 (予約制)

かわしまクリニック

大分県中津市宮夫11-1 (TEL) 0979-24-9855  
(診察時間) 月~金 9:00~12:30/14:00~18:00 / 土 9:00~12:00  
(休診日) 土午後、日、祝



接着する場所を変えることによって3パターンの回路を切り替えることができる川島式持続洗浄療法

治療とのかかわりの歴史を述べる。

同院では、高気圧酸素治療のバイオニアとして装置を3台導入している。装置内の気圧を2〜3気圧上げること、体の中に通常の10〜15倍の酸素を供給する。これにより何らかの原因で血管が細くなっているも、酸素量が増えるため白血球の殺菌作用が増強・活性化し、損傷組織の修復も促進されて感染症に対して威力を発揮する。

「当初は減圧症のほか、一酸化炭素中毒やガス壊疽などの疾患を対象としたものだったが、今では骨や関節にばい菌がつくといった骨・関節感染症に対する有効な併用療法としてだけでなく、糖尿病性などの難治性潰瘍の治療や、血行が悪くなる動脈閉塞症、足のしびれなどが出る脊髄神経の病気などに広く応用され、良好な治療成績が認められています。また、骨膜性骨形成への効果も期待され、研究を進めています」。高気圧酸素治療の実績は、1981年6月〜2016年8月で約8500症

例、延べ30万人に及ぶ。

川島式持続洗浄療法を考案し  
難治性の骨髄炎を治療

川島理事長は画期的な川島式持続洗浄療法(灌流)療法の考案者でもある。川島式持続洗浄療法は、主に骨髄炎の治療法として名高いもので、骨に穴をあけ、特殊装置であるチューブを入れて洗浄、殺菌する。1日3000ccを1〜2週間、点滴で持続的に行う。「骨髄炎は骨に細菌が感染して、傷口から膿が排出し治療は長期化する難治性疾患です。それだけに日本全国はもちろん、韓国をはじめとする海外からも患者さんが数多く来院します。大学病院で治らなかつた方がセカンドオピニオンで来られる場合も少なくありません」

川島整形外科病院・かわしまクリニックでは、「水滴は岩をも穿つ」を理念に掲げている。「中津にゆかりのある高野長英の言葉で、小さな力でも、根気よく続ければいつか成果が得られるということ。当院では、優秀な医師や職員たちが、一歩一歩の地道な努力を継続し、地域医療に貢献しています」と川島理事長は日々の地道な努力の大切さを強調した。